

うまい!

岩船米づくり情報 No. 4

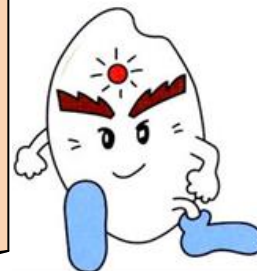
平成 27 年 5 月
岩船米技術者会議
村上農業普及指導センター
JA にいがた岩船

活着・初期生育は早生良、コシヒカリ並、エルニーニョ発生で梅雨入り遅れる!?

最も重要な作業：溝切り・中干しは遅れずに！

－ 重点事項 －

- ◎ ワキによる生育停滞を回避するため、水の更新や夜間落水を行う
- ◎ いもち病の伝染源となる補植苗は、速やかに除去する
- ◎ 田植え後 1 か月をメドに、落水して中干しを開始する
- ◎ 水田内の用排水路の役目を果たす溝切りは、確実に実施する
- ◎ 中干し時期を利用して、取りこぼしたヒエや多年生雑草を防除する



1 現在の生育状況 ～風が強いが、高温・多日照により概ね順調～

- 田植え後は5月いっぱい高温・多日照で経過しており、徒長苗を植えたほ場など一部で植え傷みや生育停滞が見られたものの、活着・初期生育は連休植えの早生品種では良好で、コシヒカリはほぼ平年並です。
- 堆肥や鶏ふんを施用したほ場など、水中のチッソ濃度が高いほ場では、アオミドロの発生が多くなっています。

2 水の更新で根の健全化と生育促進を！ ～ワキ・アオミドロ対策～

- 稲わらを舂すき込みしたほ場などでは、気温の上昇に伴いワキ（生わら等の分解により発生する有害なガス）が発生し、根腐れや生育停滞を起こします。
- 水の更新や夜間落水で“ガス抜き”を行い、根の健全化と生育促進を図りましょう。
- アオミドロの発生が多いほ場では、専用除草剤の使用を検討しましょう。

ワキの発生程度とその対策（昭 55、新潟農試）

ワキの程度	ワキの発生程度	水稻生育への影響	対策
			6月上旬まで
中	水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い。	根の活力低下	用水の更新（夜間落水）
多	水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する。	根張り不良	用水の更新を繰り返す
甚	晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる。また水田を歩くと著しく気泡を発生する。	根の伸長阻害 地上部黄化	間断かん水

3 病害虫の徹底防除 ～いもち病とイネミズゾウムシ・カメムシ対策～

- ほ場に放置した補植苗は、葉いもちの伝染源となるので、速やかに除去しましょう。
- いもち病抵抗性が弱い品種や多肥栽培の品種（飼料用米や加工用米）などで、薬剤の育苗箱処理をしなかった場合は、6月上中旬をめやすに予防粒剤を本田散布し、葉いもちの発生防止に努めましょう。
- イネミズゾウムシの被害が大きいほ場では、殺虫剤による防除を検討しましょう。
- カメムシ類による斑点米発生防止のため、畦畔や農道の草刈りを徹底してカメムシの住み処となる水田周辺の雑草をなくしましょう。

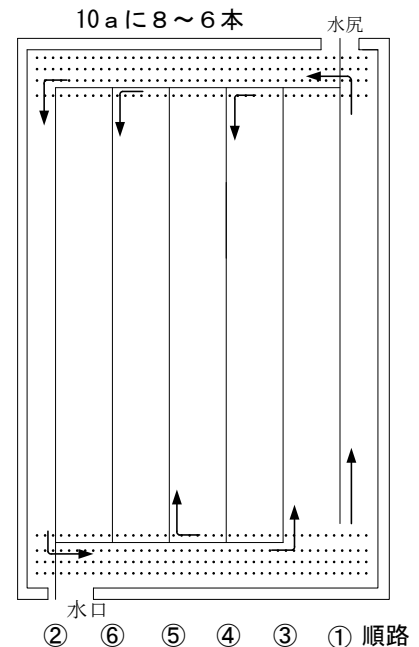
4 田植え後1か月で落水を！ ～溝切り・中干しは早めに～

- 各地で分げつが発生し始めており、これからどんどん発生してきます。
- 中干し開始時期は、目標穂数の80%の莖数を確保した時期です。
- 田植え後1ヶ月をメドに、イネづくりの重要ポイントである溝切り・中干しを確実に行い、『根の健全化』を図りましょう。
- 生育量が不足している場合も、田植え後1ヶ月をメドにいったん落水することで、ガス抜きの効果で生育が良くなります。

ー溝切り・中干しの様々な効能ー

- ① 無効莖の発生抑制による適正生育量の確保
- ② 下位節間の伸長抑制による倒伏軽減
- ③ 土壌のガス抜きと酸素供給による根の健全化
- ④ 収穫時の機械作業が容易な地耐力の確保
- ⑤ 作溝によりフェーン等の緊急時の迅速なかん水が可能
- ⑥ 作溝により秋の長雨による停滞水の容易な排水が可能

- 溝切りの際は、接続部分を手直しするとともに必ず水及び水尻につなぎましょう。
- 中干しは田面に小ひびが入り、軽く足跡が付く程度まで行うこととし、うわ根発生促進のため、出穂1ヶ月前(早生品種は6月末、コシヒカリは7月10日頃)までに終了しましょう。
- 砂質土壌や地力の低いほ場では、弱めの中干しとしましょう。



溝切りの順序

秋のコンバイン作業のために、
今からしっかり地固めを！

中干し開始時の莖数のめやす
(コシヒカリBL・こしいぶき)

- m²当たり莖数：300本
- 1株当たり本数
坪50株植 → 20本
坪60株植 → 17本



中干しの強さは、小ヒビが入る程度(上の写真程度)。

5 後期雑草防除 ～取りこぼし・難防除雑草対策のポイント～

- 取りこぼしたヒエや、多年生雑草でお困りの場合は、中干し時期を利用して茎葉散布する後期除草剤の活用を検討しましょう。
- 砂質土壌で減水深が大きい場合、一発除草剤の効果が低いほ場では、落水して茎葉処理する除草剤の使用は効果的です。

☆ 除草効果を上げるためには？ (茎葉処理除草剤の場合)

- ① 雑草の根元まで薬剤がかかるように、落水して散布する。
- ② 除草剤は、雑草全体にまんべんなくかかるようにする。
- ③ 雑草が部分的に発生している場合は、その部分だけ散布すればよい。